



世界農業遺産とは

世界農業遺産は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的な農林水産業を営む地域を国連食糧農業機関（FAO）が認定する2002年に始まった制度です。

世界農業遺産の認定地域

現在、世界で28カ国89地域が認定されています。



<



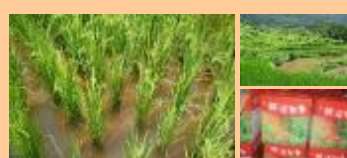
チロ工農業
チリ

ジャガイモの原産地として知られるチロ工島では、200品種ものジャガイモの在来種が栽培されており、その先祖伝来の慣行は、主に女性によって何世代にもわたり継承されてきました。また、温帯雨林は希少な動植物の住処であり、生物資源の宝庫となっています。



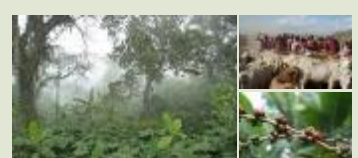
カシャーンのカナート灌漑システム
イラン

乾燥地域のイランは、世界で最も伝統ある農業地域の一つです。カナート灌漑システムは紀元前800年頃に始まりました。地下水路が貴重な水の蒸発を防ぎ、安定的に水を供給することで、砂漠地帯における作物生産を可能にしています。農家は最も効率良く水が利用できるよう、作物を組合せて栽培しています。



青田の水田養魚
中国

当地域では、何世代にも渡り水田における魚の養殖が行われており、水田で魚の養殖を行った記録は2000年前まで遡ります。イネは魚に日陰や食料を供給し、魚は雑草やイネの害虫を食べ、イネが成長するための養分をもたらします。また、魚が水田を泳ぐことで土壌がやわらかくなり、水中に酸素が供給されます。



アグロフォレストリーシステム
タンザニア

当地域では、豊かな農業と森林の共存が営まれています。菜園は4つの層から成り立ち、一番上に日陰をもたらす樹木、次いでバナナ、コーヒー、一番下で野菜等を栽培し、限られた土地の中で生産効率を最大限に高めた農業を行っています。



国内の世界農業遺産認定地域

現在、国内では15地域が認定されています。

カッコ内は認定年月



認定地域名	農林水産業システムの名称	認定年度
新潟県 佐渡市	トキと共生する佐渡の里山	2011年度（平成23年度）
石川県 能登地域	能登の里山里海	2011年度（平成23年度）
静岡県 掛川周辺地域	静岡の茶草場農法	2013年度（平成25年度）
熊本県 阿蘇地域	阿蘇の草原の維持と持続的農業	2013年度（平成25年度）
大分県 国東半島宇佐地域	クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環	2013年度（平成25年度）
岐阜県 長良川上中流域	清流長良川の鮎ー里川における人と鮎のつながりー	2015年度（平成27年度）
和歌山県 みなべ・田辺地域	みなべ・田辺の梅システム	2015年度（平成27年度）
宮崎県 高千穂郷・椎葉山地域	高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム	2015年度（平成27年度）
宮城県 大崎地域	持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム	2017年度（平成29年度）
静岡県 わさび栽培地域	静岡水わさびの伝統栽培ー発祥の地が伝える人とわさびの歴史ー	2017年度（平成29年度）
徳島県 にし阿波地域	にし阿波地域の傾斜地農耕システム	2017年度（平成29年度）
山梨県 峡東地域	峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム	2022年度（令和4年度）
滋賀県 琵琶湖地域	森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム	2022年度（令和4年度）
埼玉県 武蔵野地域	大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法	2023年度（令和5年度）
兵庫県 兵庫美方地域	人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム	2023年度（令和5年度）



日本農業遺産とは

日本農業遺産は、我が国において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を、日本農業遺産の認定基準に基づき、農林水産大臣が認定を行う制度で、平成28年度に創設されました。

日本農業遺産認定地域

日本農業遺産は、令和6年度（令和7年1月）に新たに4地域が認定され、現在28地域が認定されています。

